平成　28 年度事務事業評価表（一般用）

①事務事業名		担当部課	部課コード	810300	TEL	04-2998-9242
事業コード 810316	ところざわ人形劇フェスティバル開催支援事業		社会教育課			
開始年度　平成 4　年度　→　終了年度　年度			ｸﾞﾙｰﾌﾟ	社会教育グループ		

②事業の概要					
事業の種別	■ 自治事務　□ 法定受託事務　□ 法定受託＋附加			根拠法令	
分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画、所沢市生涯学習推進計画			社会教育法・ところざわ人形劇フェスティバル実行委員会補助金交付要綱	
関連・類似事業					
総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	社会教育	基本方針	家庭・地域の教育力の向上を図ります
事業開始の背景	昭和５５年から市内人形劇サークルの合同発表会として行われていた「人形劇フェスティバル」を、平成４年に、「さいたま芸術文化祭」の事業の１つとして、所沢市が補助金を交付し開催した。翌年から、名称を「ところざわ人形劇フェスティバル」として、毎年補助金を交付し開催を支援している。				

③事業の内容

目的（どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に）

人形劇を通して子どもたちの夢や希望、情操を育て、感受性をはぐくみ、青少年教育の振興を図る。

対象（誰を、何を対象としているのか）	対象数	単位			
所沢市内の幼児・児童及びその保護者　（対象数は所沢市民）			平成　26　年度	342,564	人
			平成　27　年度	343,067	人

事業の具体的な内容及び実施方法

①ところざわ人形劇フェスティバル参加団体募集の記事を広報に掲載。
②参加を希望する個人または団体から実行委員会を組織し、実行委員会では自主的な企画を行う。
③ところざわ人形劇フェスティバル実行委員会に補助金を交付。
④ところざわ人形劇フェスティバルを開催。

④経費

≪会計種別≫	一般会計	平成　26　年度（千円）		平成　27　年度（千円）		平成　28　年度（千円）
予算現額		310		310		310
決　算（見込み含む）		310		310		
（非常勤特別職員）	（臨時的任用職員）	（ 0.00 人）	（ 0.00 人）	（ 0.00 人）	（ 0.00 人）	※「財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。
正規職員人件費		0.23 人	2,006	0.23 人	1,992	
事業費合計			2,316		2,302	
財源内訳	一般財源		2,316		2,302	310
	国・県支出金					
	その他（　）					

⑤実績

	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28見込み	将来目標
活動実績	参加団体数	参加団体数	団体		8	10	8	8
	入場者数	入場者数	人		530	306	400	600

⑥成果

	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28目標値	将来目標
成果指標	入場者の満足度	入場者へのアンケート（項目：よかったと回答した人の割合）	%	目標値	100	100	100	100
				実 績	90	100	☑「実績」拡大図る　□「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	90	100	↑どちらかをチェックしてください	

⑦改善点

(1)平成27年度中に改善した点（改善内容・その結果について記載してください）	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
乳児連れやお年寄りには優先的に座ってもらった。 各スタッフがそれぞれの役割を確実に遂行することにより、設営から撤去まで手際よく行うことができた。	－

⑧評価

評価		今後の方向性				
☑ 継続 □ 終了	事業実施方法（複数選択可）	□ 拡大　□ 縮小 ☑ 改善・効率化　☑ 現状維持　□ その他	理由	毎年、各地の公民館を巡回して実施している人形劇フェスティバルは、子どもたちの豊かな感受性や想像力を育み、本市青少年教育に寄与している。今後も趣向を凝らしながら継続して実施していく必要がある。		
	次年度予算	□ 拡大　□ 縮小　☑ 現状維持	理由	広報費、製作費補助、運搬費、謝礼など事業を実施するために必要な予算であり、今後も現状維持していく。		

(1)平成２８年度に取り組んでいる状況	(2)今後の方向性
フェスティバルを滞りなく開催できるようにするため、各スタッフそれぞれの役割を事前に検討・確認するための会議を重ねている。	当事業は、人形劇を通して子どもたちの豊かな感受性や想像力を育むものであり、実際の公演を肌で感じ感性を養う貴重な機会となっている。また、アマチュアの人形劇団が一堂に会し公演するため、入場者だけでなく参加する各劇団にとっても活動の刺激となる貴重な機会であり、今後も継続して行う必要がある。

評価日	H28.8.19	評価者職氏名	社会教育課長　安田　幸雄

⑨環境影響

有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無